

未来を担う子どもたちを育てる

小学校教員

こんな人に向いています

- ☐ コミュニケーションをとるのが得意
- ☐ 子どもが好き
- ☐ 人の役に立ちたい
- ☐ チャレンジすることが好き
- ☐ 気長に待つことができる

子どもの気持ちに寄り添うことを意識 成長する姿を間近で見られることが喜び

連坊小路小学校のクラス担任として、毎日の授業や学習・生徒指導などを行っています。授業もクラスの活動も、子どもたちに寄り添うことを特に心がけています。授業が楽しいと思ってもらえるよう、子どもの考えを大事にしながら毎日の授業を考えたり、休み時間に子どもと教室でお話をしたり、外で遊んだり、一緒に過ごす時間を大切にしています。子どもたちのために何ができるかを考える時間が好きで、働くのが楽しい！年間を通して子どもの成長する姿を間近で見られることはとてもうれしく、教師としてのやりがいを感じます。



この仕事についたきっかけ

子どもが大好きで、一緒に笑い合ったり、困難を乗り越えたりする中で自分も成長できる場所に魅力を感じ、この仕事を選びました。中学生の時に小学校で職場体験をした際、子どもたちの輝く笑顔を見て、先生という職業にあこがれたことも理由の一つです。

入職2年目

渡部 綾香(ワタノベ アヤカ)さん



30

小学校教員



必要な資格・スキル、役に立った経験

- 小学校教諭免許状
- 子どもと関わるボランティア活動

お仕事の流れ



授業

2年生の担任として、国語や算数から、音楽、体育まで、すべての教科を教えています。そのため、小学校の先生はさまざまな分野の知識を身に付ける必要があります。



授業の準備

子どもたちが下校した後に、「どんな進め方をすれば分かりやすいかな」と考えながら、次の日の授業準備をします。プリントやノートづくりだけでなく、情報端末を活用した授業方法も考えています。



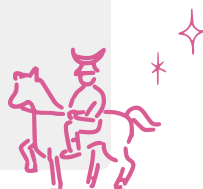
採点

授業と授業の間の時間や放課後などに、子どもたちのテストなどの丸付けをしています。間違いが多い問題をもとに、指導の仕方や授業の流れを考えたりもしています。



打ち合わせ

1週間に1回ほど、同じ学年を担当する先生同士で打ち合わせをしています。行事の予定や授業の進み具合を確認したり、子どもたちの様子を報告し合ったりしています。





▶ 中学校教員

中学校の授業は、教科ごとに先生が担当します。そのため、中学校教員には専門的な知識や指導法が求められます。部活動の指導もあり、生徒の成長をさまざまな場面で見守っています。



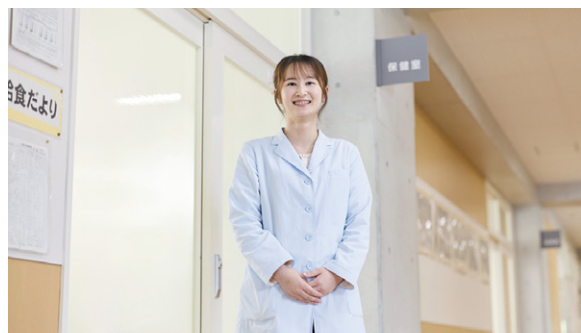
▶ 高校教員

高校生は、日々の学習だけでなく、進学や就職などそれぞれの目標に向かって励んでいます。高校の教員にとって、進路の相談にのることも大切な役割。目標の実現のために努力する生徒たちを支える頼もしい存在です。



▶ 特別支援学校の教員

支援が必要な子どもたちに、自立して生きていくことの基礎を教育するのが特別支援学校。それぞれの個性を輝かせるという大切な役割を担っています。生徒一人ひとりに合った教材を作ったり、支援の方法を考えたりします。



▶ 養護教諭

体調不良の時やけがをした時の手当はもちろん、悩みを聞き、寄り添いながらサポートしています。保健室という教室とは違う空間で、生徒に向き合っています。生徒自身の力で一歩前に踏み出すことができるよう、後押しする存在です。

チーム学校

一人の教員ができることは限られています。だからこそ、みんなで知恵を出し合ったり、励まし合ったりしながら One Team で仕事をしています。「チーム学校」で協力し合い、より子どもたちを輝かせる方法を考えています。



職場ではこんな人も働いています

- 校長
- 教頭
- 教諭
- 養護教諭
- 栄養教諭
- 事務職員
- 図書事務職員
- 学校用務職員
- 相談員
- 支援員



渡部さんからの
メッセージ



仙台市教育委員会

仙台市青葉区上杉 1-5-12
TEL / 022-214-8873
市制施行 / 1889 年 4 月 1 日
<https://www.city.sendai.jp/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/index.html>



SENDAI CITY

